

## 花巻市石鳥谷地域協議会 平成26年度第3回会議 会議録

【日 時】 平成27年1月29日（木）午後1時30分～午後4時5分

【場 所】 石鳥谷総合支所 3階 大会議室

【出席者】 出席委員：12名

川村次男、岩館大輔、佐々木信行、藤原信雄、熊谷善志、  
鎌田嘉道、玉山領一、似内英悦、晴山美紀子、鎌田愛子、  
菅原重子、佐々木さつき

欠席委員：3名

継枝利尚、佐藤芳彰、高橋修

市側出席者：3名

秘書政策課：藤田哲司課長、企画調整係吉田主任

都市再構築検討プロジェクトチーム

中村健司副班長（都市政策課長補佐）

事務局出席者（石鳥谷総合支所）：9名

藤原総合支所長、中村地域振興課長、晴山市民サービス課長、  
藤井支援監、熊谷主幹兼地域振興課長補佐、藤原同課長補佐、  
晴山市民サービス課長補佐、佐々木地域づくり係長、畠山主査

### 【説 明】

（1）「立地適正化計画策定」について

立地適正化計画による都市再構築の方向の概要の説明を受けた。

（2）「人口減少対策に関する中間報告」について

人口減少対策に関する中間報告と今後の事業について説明を受けた。

### 【協 議】

（1）「石鳥谷地域の諸課題について」について

諸課題を確認し、来年度において引き続き協議していくこととした。

【その他】 地域づくりの新しい仕組みづくりについて

【傍 聴】 会議を傍聴した者 なし

※会議での発言等は別紙顛末のとおり

※会議における配付資料は以下のとおり

資料：

- ・まちづくりと施設整備の方向
  - －立地適正化計画による都市再構築の方向－案－概要版
- ・人口減少対策に関する中間報告
- ・人口減少問題の検討経過
- ・石鳥谷総合支所の課題について
- ・石鳥谷地域課題アンケートまとめ
- ・地域づくりの新しい仕組みづくりについて

## 顛末

○ 進行／中村地域振興課長

### 1 開 会 13 : 30

### 2 挨拶

#### 似内会長

ご苦労様でございます。1月も下旬となりましたが今年もよろしく願いいたします。今回で3回目となりますが、この会議が今年度の最後となると思いますので、どうぞ忌憚のないご発言をお願いいたします。今日は、説明事項が2つと協議事項として石鳥谷地域の諸課題についてがあります。説明事項につきましては、花巻市の将来のあり方にかかってくる、人口問題につきましては、国がその対策についてどうすればいいか出てきてはおりますが、私自身思うには、花巻市を構成する地域、例えば石鳥谷地域があつて、6つの振興センターがあつて、それを構成する行政区、集落があります。先日、コミュニティ会議の会長さん方と懇談いたしました。その時に、集落をどうするか。集落にはいろいろな役割をもった方々がいて、それをまとめることができないものか。そうした時に行政区長と地域の関係があります。石鳥谷地域では、昔から自治公民館制度があり、地域のことは自治公民館が中心となり集落の運営を行ってきております。行政区長と自治公民館長との関係を考えてみなければならぬのではないかと思います。

自主防災組織ですが、行政区長につくりなさいときですが、なぜ行政区長がつくらなければならないのかと市に聞いたことがあり、むしろ自治公民館あるいは自治組織に話をしつづけてもらうべきではないかと話したことがありますが、行政から自治公民館、自治組織に指示することはできないので、市が委嘱している行政区長をお願いすることとなりましたが、行政区長が自主防災組織の長にならないといけないということではありません。それぞれの集落、組織の中で考えていただいて、例えば自治公民館長が自主防災組織の長で、その組織の運営委員がそれぞれの役割を担うという方法がベストですと話がありました。花巻市という自治体の中に石鳥谷地域があり、また振興センター単位の地区がありますが、もう1つ小さな組織のあり方を考えていく必要があるのではないかと考えております。長くなりましたが、今日は皆さんからいろいろご意見を伺いながら、石鳥谷地域のよりよき方向を考査していきたいと思っております。よろしく願いします。

### 3 協 議

中村課長が資料の確認後、次第3の説明から似内会長進行

### 似内会長

それでは次第3、「立地適正化計画策定」について説明願います。

### 中村副班長

(資料「まちづくりと施設整備の方向－立地適正化計画による都市再構築の方向－案－概要版」により説明)

### 似内会長

質問、意見などいかがでしょうか。

### 似内会長

私から聞きたいのですが、1ページ目の既存市街地の密度の向上とありますが、旧花巻市のことだけで、旧町にも市街地があるわけですが、それはどうなるのでしょうか。

### 中村副班長

ここには書いておりませんが、それぞれの地域の市街地が対象になっております。まちづくりの全体の方向というのは、もちろん石鳥谷、大迫、東和それぞれ検討して立地適正化計画を導入していきたいと考えております。

### 熊谷委員

複合施設計画の中の「こどもの城」と「中央図書館」の利用者数はどのくらいでしょうか。

### 中村副班長

養育センターの定員は40名ほどだったと思います。その中でサービスが様々行われており、そのサービスの利用者は70名ほどのようですし、こども発達相談センターは、70名ほどで2つのグループにわけて、小さな子どもと年長のグループで親子ともども指導を受けているようです。こどもセンターは、保育園に行く前の子どもさんと保護者の方が相談などに訪れ利用されておりますが、数は現在把握しておりません。風の子ひろばは、不登校の児童が利用しており、4月に訪問した際は2人の児童がおりましたが、延べ人数は把握しておりません。図書館も本日利用者数の資料は用意してきておりません。

### 玉山委員

先ほど人口問題の話がありましたが、花巻市の出生率はどの位なのですか。

### 藤田課長

出生率は、親が2人ですので2人以上子どもが生まれないと人口が減ります。今花巻市で、1.42、全国で1.38、岩手県は1.45となっております。人口を維持するためには2人の親から子どもが2人以上生まれないと人口を維持することができませんので、2.1に近づける必要があります。

### 玉山委員

いろいろな要因があって結婚しないのだろうけど、結婚して生活していくには、民間の収入が500万円位ないと大変だと聞きます。非正規労働者の収入は300万円位とも聞きます。これでは、安定した生活ができない。そのためにも生活が安定するような環境をよくするような施策が早急に必要だと思います。

### 藤田課長

次に具体的に説明いたしますが、昨年12月に国が「長期ビジョン」と「総合戦略」を策定しました。それに今、県も市も倣い進めていますが、安心して生み育てることができる環境に向けた話を次にさせていただきます。

### 鎌田委員

複合施設「こどもの城」の見直しということですが、今回見直しの理由を聞き、なるほどと思いましたが、私としては、1日子どもといて楽しめる施設、いろいろな年代の方と会えて、悩みとか共有できる大きな施設、駐車場も広い施設が花巻市にあればいいと思うのですが見直しとなりましたが、これは検討材料としていただければと思います。これは意見としてです。

### 中村副班長

「こどもの城」と言いますと、いろんなイメージをもたれると思いますが、一戸町に県立の「子どもの森」という児童館がありますが、私も子どもが小さい頃行ったことがあります、とても楽しいところではありますが、花巻市ではもともとあのような施設は想定していなくて、図書コーナーとか相談・交流スペースは盛り込んでおりましたが、大きい施設もいいのですが、市として大きい施設にして1箇所にとめてするよりも、規模は大きくはありませんが、それぞれの地域にあったものがあるというご意見もありますので、ご意見として承り、今後も各年代の皆さんのご意見を頂戴しながら考えていきたいと思っています。

### 似内会長

4ページに「居住誘導区域」とか6ページに「施設整備の方向」がありますが、この中に学校が入ってないのですが、石鳥谷には4つの小学校がありますが、一番新しいところでも平成元年、2年の小学校がもう26・27年経過しております。20年後には建て替えの時期がきますし、その前に、石鳥谷、八重畑、八幡の建て替え時期がきます。居住人口の誘導ということは、学校の建設場所も今後

重要になってくると思います。図書館とかの機能とかは、具体的に生涯学園都市会館の周辺、あるいはなはんプラザ東側駐車場とかのようですが、学校の統合を含めた居住誘導が必要ではないのか。20年先を見通した計画の途中で、学校の統合の話が出るというのが果たしていいのか。誘導するのであれば、そういうのも踏み込んでするべきではないのか。1～6年生の人口割合もかなりを占めるのではないかと思いますので、それらを考慮して計画すれば、若い方々の誘導につながるのではないかと思います。これには、相当議論しなければなりませんので難しいとは思いますが、そうすれば、市民が納得するような、まちづくりと施設整備の方向に向うのではないかと思います。

### 中村副班長

学校に限らず、市役所はどうなるの、市民体育館も一緒に考えたらいいのではという話がありましたが、今ここに挙がってきている施設は、これまでも議論に挙がってきている施設で、学校のお話はこれからだと思いますが、立地適正化計画自体は、1回つくって終わるではなく、だいたい5年ごとくらいに見直しをかけていくことが適正と言われている制度ですので、これらの施設についてもいっぺんにできるものではありませんので、それぞれ5年ごとの見直しの中で取り込む、取り込まないと、それぞれ検討していけるものですので、将来に付け加えることができますということをご理解いただければと思います。

### 似内会長

見直しできるとのことですが、これで「立地適正化計画策定」について終わってよろしいでしょうか。

次は、「人口減少対策に関する中間報告」に移ります。

### 藤田課長

皆さんのお手元の、「人口減少対策に関する中間報告」「人口減少問題の検討経過」の2つについて、担当の吉田から説明いたします。

### 吉田主任

(資料「人口減少問題の検討経過」「人口減少対策に関する中間報告」により説明)

### 藤田課長

中間報告は去年の秋に1回公表いたしました。それではどうするかというところで、ターゲットをどこにするかということをお話し合ってきました。国からいろいろな制度、あるいは事業がきていて、27年度予算に向けて、子どもの医療費をどうするかということを決めているところで、今日のところ申し上げたいのは、人が減っている傾向はこういうところであります、ということをご理解

いただければと思います。

現在予算要求している事業の1つに地域おこし協力隊という国、総務省の事業があります。これは、都市部の方に住所を移して住んでもらい、商店街のこととか、地域の魅力を情報発信してもらおう。現在は全国で1,000人足らずですが、総理が国の取組みとして今後3年間で3倍の3,000人に増やすと言っております。花巻市も27年度に石鳥谷、大迫あるいは東和地域で活動してもらおうために、予算検討しているところです。この事業は、人口減少対策とともに地域の活性化に携わってもらおう事業になっております。

### 似内会長

今日の新聞にもものっていましたね。

### 吉田主任

普代村ですね。

### 佐々木委員

今日の話聞いた中で、何点か意見があるのですが、まず1点ですが、まちづくりのあり方を考える時にですが、既存施設を有効に活用するというのはそのとおりなのですが、人が住んでいる数、場所ですが、それぞれ年を追うごとに人が集まる場所が変わるということとか、例えば、2車線で歩道もないところに、これから人を集約していくということが本当にいいのかということを含めて、人が集まる場所、またそこに行く時の利便性を総合的に考えていかなければと思っております。そういう中で駅というところは必ず人が集まる場所なので、人が利用するものをつくっていけばいいと思いますし、先ほど似内会長から話がありましたが、学校というのは大きいと思います。結局人口が増えている地域とかは、新興住宅地なのですが、おそらく2世帯で住めるような家はほとんどない。これがどうなるかということ、盛岡市の松園町のようにその世代間はたくさんいるんですが、いっきにいなくなる。急に子どもがいない地域になる。なぜそう思うかというとPTA関係で資料を見れば、好地の子どもの数を見れば、今、駅西が増えているのですが、今から5年前とこれから5年後を見た時の石鳥谷小学校の人数を見た時に52%ほど減っている。それに対して八重畑地区とかはあまり変化がない。そういうことを考えると、お金がなくて子どもが育てられないということもありますが、1番大きい力は、例えば2世帯とかのおじいちゃん、おばあちゃんのか、初めから子どもが地元に残ることを想定していれば大きな家を準備しますが、なかなか今そういうことがなくて、2世帯の家がない中では、これから土地があっても敷地内に別の家を建てることのできる環境が石鳥谷にはある、いい環境がありますので、ぜひそういう部分を調べてみていただければいいと思います。人のいる地域はどうしても点在したりするので中心市街地を活性化するためには、流通をどう確保するとか、無理に人を住ませようとするよりも、人は移

り行くものだから、そこに対して利便性がいいものを考えていくとか、土地がたくさんあれば再開発しやすいと思いますが、現状で西南開発とか紫波のオガールみたいな中央地区のような土地があるところではできるだろうけど、人が住んでいるところに再開発が現在できないだろうから、そういうことを考えて今後のまちづくりをしていただきたいと思いますし、ましてや今1市3町が合併して従来の中心市街地がばらけている中で、そういう中でこれから人の流れをつくっていくのかということをして是非考えていただければと思います。

#### 似内会長

貴重な意見ありがとうございました。

以上で説明の部分を終わり10分ほど休憩後再開いたします。

#### 暫時休憩

#### 似内会長

4の協議「石鳥谷地域の諸課題について」に移ります。

説明お願いいたします。

#### 藤原支所長

それでは、私の方から説明いたします。

委員の皆様には、第2回目までに地域課題についての意見を出していただいたところですが、先ほど「立地適正化計画策定」「人口減少対策に関する中間報告」についての説明がありましたが、それらを絡めながら、石鳥谷の課題というのは、「南部杜氏の里づくりの推進」「中心商店街の活性化」「石鳥谷地域の中心市街地における土地利用計画」。この3つが大きな課題となっております。

まず最初に「南部杜氏の里づくりの推進」ですが、これにつきましては、平成22年度から支所として検討してきておりますが、この道の駅は国道沿いに平成4年に第1号としてオープンし22年も経過しておりますが、近年、この施設の訪問者、また南部杜氏伝承館の入館者数は年々減ってきております。また、観光関係業者からは、類似施設が2つあるとご批判をいただいているところであり、まずこの場所のリニューアルを考えていかなければならないという部分があります。私も昨年4月にこの支所に参りまして、市長も議会のない月に支所に来て、地域の方々と懇談を行っており、4月には道の駅、産直施設の充実。11月には酒匠館、産直施設の施設改善。道の駅の後ろ側に散策路がありますが、散策路の活用、11月には南部杜氏の里というものが薄れてきているのではないかという、ご意見等を伺っております。昨年11月には、在京花巻ふるさと会という、花巻、大迫、石鳥谷、東和の在京町人会と懇談する機会があり参加して参りましたが、その中でやはり国道4号の石鳥谷道の駅は、ほかと比べますと産直施設の狭さ、

品薄さ、賑やかさ、そういう部分が第1号としてオープンいたしました。その後オープンした道の駅の方が充実していると言われておりますことから、まずこの道の駅をリニューアルしなければならないというのが1つの大きな課題となっております。現在、検討してはおりますが、やはり新しく施設を建てることはなかなか難しいところであるため、現施設を有効利用して施設の改築なり、内部の展示の見直しをしないと難しいのかなと考えており、委員の皆さんからご意見等いただければと考えております。

#### 藤原委員

産直施設が狭く品数が少ないという話ですが、確かにそのとおりなのですが出店者はどう考えているのでしょうか。これ以上大きくしても続けられないとか、その辺の意向は何か聞いてはいないのですか。広ければ利用しやすいだろうけど。

#### 中村課長

実は、昨日総会に参加して参りました。やはり、出店者側からするともう少し広い方がいい。高齢化が進み会員も少なくなっているが、まだ続けたいという意向であります。

また、シルバー人材の方でしているお休み処の方でもして、会員がそちらに行っているという話もあります。

#### 藤原支所長

道の駅のリニューアルについて平成25年度には原案はできておりましたが、リセットされております。

#### 玉山委員

例えば、石鳥谷は酒の町だと言うけど、酒をつくって売っているところがない。つくっているところを見せて、試飲をさせるところとか体験させるところがない。

あそこは第3セクターでしょ。杜の蔵や伝承館とは別

#### 藤原委員

あその施設は1つにして大きくした方がいいと思います。よそはだいたい1つで、お土産物はあるし生もの野菜などがある。そうすれば、問題がいつきに解決するのではないかと思います。

#### 熊谷委員

始まった当初は、かなり人がきました。最近はあまりきていない。またきてみたいという体験できるものや、また食べてみたいというおいしいものがなければ人は呼び込めないと思います。



### 藤原委員

これから冬季国体岩手国体とかあるのだから、そういうものを呼び込むことを考えて進めればと思いますが、経営主体が違ってしまうとそれまでですが。

### 熊谷委員

それは運用の仕方かと思いますが。

### 藤原支所長

おっしゃるとおり酒匠館と産直が一緒にあわせた形の方が個人的にいいと思いますが、これから皆さんのご意見を賜りながら進めていきたいと思っています。また、バスの駐車場がないという話も承っておりまして、計画しているのは、歴史民俗資料館の北側のパークゴルフ場は市有地になっており、松の木ですが伐採して駐車場にすることは可能であります。それと、国土交通省と道の駅の間、駐車場と道路の間に植栽している部分がありまして、そういう部分を考えて一体型にするとか、入り口を少し中が見えるような動線をと考えたいと思いますが、国交省とのこともあります。そういうことを踏まえて次回から委員の皆様にご意見を出していただければと思います。また、あそこに行っておいしい食事がしたいとか、あそこに行けばあれがおいしいとかそういうものも必要かと思っています。

### 似内会長

八幡コミュニティ会議の事業の田んぼアートなども、もう少しPRするなどいいのではないかと思います。知らない人もいて聞かれる時があります。

### 玉山委員

国道に勝手にのぼり旗とか付けることができないんですよ。

### 藤原委員

鉄道から見えますか。

### 玉山委員

見えますが、鉄道はゆっくり走ってくれないので。生涯学習会館から写真をとる時など電線がじゃまで。

### 似内会長

冬季国体はアイスアリーナは会場になっておりますか。

### 藤原支所長

平成28年度2月にアイスホッケーで使われます。

### 似内会長

その辺りまでにリニューアルされているといいですね。

### 藤原支所長

なかなか難しいです。平成27年度にリニューアルの計画がありましたが、リセットされております。

### 似内会長

どこの道の駅も6時に閉まるのですか。今の時期はいいのですが、真夏の旅行客が多い時に閉まるのは早いのではと思いますが。

### 鎌田委員

りんどう亭の奥もあまり使われていないですものね。1週間に1度は休んでいきますし。

### 藤原支所長

夜の宴会とかでしか使われていないようですね。

### 似内会長

今出ました、南部杜氏の里づくり、田んぼアート、道の駅をからめてまた次の機会に具体的に話し合いをしていきたいと思えます。

次の諸課題であります、中心商店街の活性化について説明をお願いいたします。

### 藤原支所長

先ほど人口減少問題についての説明の中で総務省所管の「地域おこし協力隊」の事業の説明がありましたが、現在、中央通り商店街、商工会議所青年部にがんばっていただきまして、酒蔵交流館を中心とした酒蔵まつりを行っていただいております。また空き店舗を利用した「小さな百貨店ぶらっと」は3年間、緊急雇用の予算で行っております。それは今年度までではありますが、次年度も自立に向けて援助して欲しいという要望があり、それを受けて予算要求はしております。そういう中で、ここの中心市街地にある「まちの駅」と「道の駅」の動線が必要ですし、また南部杜氏の里の限定商品がないので商品の発掘。そこで、どうやって積極的にやっていくのかというところで期待しているのが、さきに説明がありました「地域おこし協力隊」であります。石鳥谷では現在1名を予定して予算要求している段階ですが、考えているのは、都会からきた方から見たまちおこし、また私たちが期待することなどがあるかと思いますが、この人が1人きたからといって、すぐできるわけではないので、地域の方々、協議会の方々の意見を出していただければと思えますし、これは3年間の事業でありまして、1人くれば終わりではなく、次の年、もう1人きて欲しいという場合は、募集してきてもらう

ことも可能ですし、そういう形で人の輪を増やしていき、将来的には起業・定住していただきたいと考えております。ただ、地域をはなれる場合もありますが、そういう形の中で期待をしていきたいのと、先ほど佐々木委員から話がありましたが、JR石鳥谷駅を生かしていく。旅行客も1,200人ほどありますのに生かしきれていない。定期券で学生などは1日あたり2013年度で900人ほどで定期券以外いわゆる普通に切符を買う人が220人ほどの方が利用しておりますが、それをインパクトあるまちづくりができれば、駅を利用しその周辺のまちおこしができればと思いますので、このことにつきましてもご意見をいただければと考えております。

### 鎌田委員

農家のお母さんたちが、自分でお饅頭と団子とかをつくってだあすことかで売っています。石鳥谷でも道の駅辺りに工房をつくっていただいて、そこから発信するのもいいのではと思います。

### 藤原支所長

石鳥谷は店舗と居住が一緒というところで店舗を貸していただけないという話も聞いておりますが、ただお話の仕方があるだろうから、それによりご協力いただければ、まちおこしになるのではと思います。

### 熊谷委員

梅具味なんかは、1つの典型的なやり方かなあとと思います。空き店舗を利用して加工をして商品を盛岡などに結構売っている。ああいう取組み、やる気のある人を支援していく仕組み、ただ高齢化が進んでいるので若い人たちの中でやる気のある人がいれば。

### 玉山委員

花巻市内では石鳥谷はあまりないけど、大迫、東和などでは6次化している。山に行って山菜をとって加工して販売している。結構売れている。

### 藤原支所長

市では起業化するための施設整備とかには資金援助を行っておりますので、そういう制度を勉強していただいて支援しながらと考えております。

### 似内会長

他の地域と違って石鳥谷は危機感があまりないようで、このような感じも地域おこし協力隊の方に変えていただければと思います。

それでは、次に行きましょう。

(3)の石鳥谷地域の中心市街地における土地利用計画について説明お願いい

たします。

### 藤原支所長

石鳥谷の駅前には駅前区画整理事業というのが計画されております。これは昭和39年7月に都市計画が決定され、平成5年9月に計画変更されております。しかし、実際実施されたのは駅前の2.6hであり、全体の88%が未着工となっております。しかも、建築制限もありまして、SRC造りで3階建て以上はだめという制限があります。この駅前の区画整理事業は花巻の今の状況の中で事業推進するのは難しい状況であります。現在、区画整理事業とは別に生活道路が整備されてきておりますので、そういう中で、今後やるかやらないか議論していかなければならない状況であります。また、マルカ藤原も跡地ですが、1.8hは既に民間の不動産の手に渡っておりまして、土地は当初高齢者の施設をつくりたいという計画であったようですが、それは諦めて、宅地造成をしたいということですが、何分マルカ藤原の既存の建物がありまして、なかなか事業が思うように進まないという状況にあります。マルカ藤原の北側に私有地があります。これはJAの土地で3反5畝ありますが、市長もこれを見まして、市ではできないけれど、民間活力を導入しながら、石鳥谷の土地利用計画、空き地空き店舗を組み合わせた土地利用計画を立てなさいと指示がされております。まだ着手されておりませんが、こういう中で1番の懸案事項は、駅前の区画整理事業を地域に説明して、事業の縮小を進めていかなければならないというのが課題となっております。あと、支所の北側から花巻温泉線の図で言えば黄色い部分の間が農業振興地域となっております。市長が申しておりますのが、矢巾に岩手医科大学の病院がくることにより矢巾町の宅地の価格は上がってきている。そうすれば、おのずと土地の安い石鳥谷地域にくるだろうから、そういう中でやはり駅前と支所の北側を組み合わせる中でしっかり計画を立てるよう指示を受けておりますので、皆様からいろいろなご意見をお聞かせいただければと思いますし、あとあわせて新堀の三日堀住宅の跡地、石鳥谷駅の西に2反5畝ほどの保有地があります。こういう部分の活用も考えていかなければならない。新堀の三日堀については、もともと宅地があった場所でありまして、フラットになっておりますので、すぐにでも宅地造成できるかと思っておりますし、市では今契約管財課が管理しておりますが、いい業者があればということですので、今後皆様のご意見を賜って参りたいと思っております。

### 似内会長

区画整理区域ですが昭和39年からのものですが、これを変えるのは大変なことですね。

### 藤原支所長

建設部長との話の中では見直しをしていきたいとの考えで、規模の縮小、事業

取りやめ、どうやっていくのか地元の総意もありますので、そういう中でただやめましたという話なのか、それに変わる事業をしなければならないのかという部分はこれから建設部と詰めていかなければならないのですが、現在建設部は立地適正化計画のことやらで大変忙しいセクションとなっており、石鳥谷の部分は石鳥谷で検討して欲しいと言われておりますので、今後情報を収集しながら検討していきたいと思っております。

#### **玉山委員**

現在は、コンビニ、サンデー、アパートが建ってきて大分図面から変わっていますね。

#### **藤原支所長**

それと、白幡薬師堂線ですが、25年の大雨の時、大型トラックが曲がれなくて、現場に行けなかったのが、今後新設工事を行って参ります。

#### **似内会長**

わかりました。今後皆様のご意見をよろしくお願いいたします。

### **4 その他**

#### **中村課長**

情報提供がございます。

#### **藤井支援監**

(資料「平成26年度第3回花巻市石鳥谷地域協議会参考資料」について説明)

#### **藤原支所長**

非常勤職員ではありますが、地域のコミュニティとして活動しますので、地域の方々と一緒にやれる方、地域づくりに理解を示していただける方、複数年勤めていただける方、そういうことをポイントとしてコミュニティ会議の皆さんと協議しながら公平を期した採用に努めて参ります。

#### **似内会長**

年齢制限はありますか。

#### **藤原支所長**

ありません。

それと今回は給料と書いておりますが生活給ということではなく報酬です。

## 玉山委員

(2) はいつからですか。

## 藤井支援監

去年の12月15日に各コミュニティ会議に協議して意見をとったところ、石鳥谷地域のコミュニティ会議からはそのままいいということで、自治公民館の備品は2分の1までは認めるという水準にしましょう。自主防災組織の備品の補助は100%がいいのだけれど何でも自主防災と名前が付けばいいのではなく、この備品についてだけは100%いいですよという協議でした。

## 似内会長

その他何かありますか。

## 中村課長

事務局ではございません。

## 5 閉 会